

事業計画書

■当初 □最終

作成年月日	2021年 10月 19日
法人名	学校法人英数学館
代表者職名	理事長 加計 亮太郎
担当者名	連絡先 082-540-1311

1 協議事項

事業種別	放課後等デイサービス	事業所名	学校法人英数学館 EISUみらい塾	開設(変更)予定日	令和4年4月1日
------	------------	------	-------------------	-----------	----------

位置の種類	計画の概要		本計画書に記載が必要項目													
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
位置の種類	■新規事業所の開設	□ 共生型サービス	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○													
		□ 事業の追加	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○													
	□ 共生型サービス以外	■ 新築予定	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○													
		■ 買得・自己所有	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○													
	□ 多機能型サービス	■ 新築予定	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○													
		■ 買得・自己所有	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○													
	□ 現在地	■ 新築予定	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○													
		■ 買得・自己所有	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○													
	□ 定員の変更	□ 就労継続支援A型	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○													
		□ 共同生活住居の追加	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○													
□ 大規模な事業内容の変更	□ 上記以外	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○														
	□ 事業所の移転	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○														
□ 建物の構造・設備の変更	□ 施設整備を伴う	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○														
	□ 施設整備を伴わない	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○														

2 事業実施に係る動機

別紙:	
-----	--

3 提供サービス

種別	① 放課後等デイサービス	割合	100%	提供日	
	②	割合	9%	提供日	
	③	割合	9%	提供日	
理念	学校法人英数学館の理念である「ひとりひとりの若人が持つ能力を最大限に引き出し、技術者として社会に貢献できる人材を育成する」とともに、すべての子どもたちへの成長を願い、支援を必要とする障害のある児童・生徒に対して、学校や家庭と異なる時間・空間・人間・体験を通じて、個々の児童・生徒の状況に応じた発達支援を行うことにより、児童・生徒の意欲の保障と健全な育成を図る。				
目標	児童生徒のそれぞれの特定のスキルに注目し、得意なことや興味関心のあることを見つけ、学習に対する意欲を高めることに心がけます。優れた才能を持つ児童や生徒(2E)の教育に心がけます。児童・生徒の自己肯定感を高め、社会的スキルを向上させ、社会で自らで対応できる力を身に付けさせます。また、児童・生徒・保護者が安心して通所できる環境と指導を心がけます。				
同様のサービス					

4 施設の概要(平面図は裏面のとおり)

土地	所在地	吉津町12-27 A棟	用途区域	第二種住居地域	意見		
所有者	学校法人英数学館	抵当権	□ あり		今回計画の放課後等デイサービスの施設整備に際しては、児童生徒の安全確保を図るため、用途変更する場合は300m以下のため、児童生徒の安全確保は不要です。		
建物	名称	学校法人英数学館 EISUみらい塾	構造	鉄筋コンクリート造			
	所有者	学校法人英数学館	構造	鉄筋コンクリート造			
	用途	放課後等デイサービス	建築年	昭和50年			
	階層	3階建	延面積	323.49㎡			
事業の概要	①	種別	新規	使用する階	1階	専有面積	107.83㎡
		手続					
		収容人員	16人	内訳	職員	8人	利用者
内容	②	種別		使用する階		専有面積	
		手続					
		収容人員		内訳	職員		利用者
申請種別	□ 新築	□ 増築	□ 用途変更	□ 移転	■ その他		
	所有物件により放課後等デイサービスを行う						

5 主要取引先

上段:取引先	下段:所在地	割合	掛取引	回収・支払いの条件	意見
		%	%	日 〆	日回収
		%	%	日 〆	日回収
		%	%	日 〆	日回収

6 従業員

職種	雇用形態	名前	年齢	月給	意見
管理者	■ 常		59	25万円	従業員の年齢層が高いことについて、事業継続の観点から計画的な職員採用に對しての考えを示すこと。
児童指導員	■ 常 □ 非		56	20万円	
児童指導員	■ 常 □ 非		61	20万円	
児童指導員	■ 常 □ 非		66	5.1万円	
児童指導員	■ 常 □ 非		52	5.1万円	
児童指導員	■ 常 □ 非		45	5万円	
児童指導員	■ 常 □ 非			5万円	
合計				80.2万円	
				月給計	80.2万円
人件費 10月 〆 27日 支払				ボーナス	6月12日・3月

7 借入金の状況

金融機関	理由	借入残高	年間返済額	意見
		万円	万円	
		万円	万円	
		万円	万円	

8 必要な資金と調達方法

必要な資金	金額	調達方法	金額	意見
土地	万円	補助金	万円	
建物	万円	自己資金	1,000万円	
設備	450万円	借入金	万円	
車両	万円			
その他	万円			
運転資金	550万円			
合計	1,000万円	合計	1,000万円	

9 事業の見通し

	1月目	2月目	3月目	1年後	意見
利用者見込 A	48人	48人	96人	240人	
月平均利用額 ※1 (1人当たり)	4.4万円	4.4万円	4.4万円	4.4万円	
収入合計	0万円	0万円	43.5万円	217.6万円	
支出合計	80.2万円	80.2万円	123.2万円	123.2万円	
収支差額	-80.2万円	-80.2万円	-79.7万円	-79.7万円	
収入 B	万円	万円	万円	万円	
支出 C	万円	万円	万円	万円	
収支差額	万円	万円	万円	万円	
必要経費	万円	万円	万円	万円	
収支差額(A型)	円	円	円	円	

※1 月平均利用額(1人当たり)の積算根拠
 基本報酬(サービス費)×全ての加算について記載すること
 平日:(基本報酬(区分2)2604+児童指導員等加算加算123+送迎加算54×2)×週改修加算(1)8.4%=9,051円/日
 休日:(基本報酬721×0.85+児童指導員等加算加算123+送迎加算54×2)×週改修加算(1)18.4%=9,138円/日
 ※2 給付金は、サービス提供月の翌々月に振り込まれるので留意すること(例:4月サービス提供→5月請求→6月振込)
 ※3 主な実作業費取引先(生産活動をを行う場合に記入)

上段:受注先	1月当たりの受注額	契約書の有無	回収・支払いの条件
下段:所在地	万円	□ あり □ なし	

※3 主な事業所内生産品(生産活動をを行う場合に記入)

生産品	1時間単価	計算式	1月当たりの生産額
	円 ×	H ×	日 ×
	円 ×	H ×	日 ×

※4 諸経費:消耗品、光熱水費、車両管理費、研修費、宣伝広告費、租税公課、社会保険料、レンタル料等

様式第2号-1

受理	10月19日
関係者への意見聴取	<input type="checkbox"/> 市 建築指導課 <input type="checkbox"/> 消防局予防課 <input type="checkbox"/> 開発指導課 <input type="checkbox"/> 福山市障がい福祉サービス等の指定に係る懇話会
回答	1月7日

事業計画書

□当初 ■最終

法人名 学校法人英数学館
代表者職名前 理事長 加計 晃太郎
担当名 連絡先 082-546-1311

1 協議事項
事業種別 放課後等デイサービス
事業所名 学校法人英数学館 EISUみらい塾
開校(実)予定日 令和4年4月1日

計画の概要
本計画に記載が必要な項目
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15
■新規事業所の開設
□共生型サービス
□事業の追加
□多機能型サービス
□定員の変更
□大規模な事業内容の変更
□事業所の移転
□建物の構造・設備の変更

2 事業実施に係る動機

別紙1

3 提供サービス

種別 ①放課後等デイサービス 割合 100% 提供日 月火水木金土日
理念 学校法人英数学館の建学の理念である「ひとりひとりの個人が持つ能力を最大限に引き出し技術者として社会に貢献できる人材を養成する」のもと、すべての子どもたちへの成長を願い、支援を必要とする障害のある児童・生徒に別して、学校や家庭と異なる時間・空間・人・体験等を通じて、個々の児童・生徒の状況に応じた発達支援を行うことにより、児童・生徒の生涯の利益の増進と健全な育成を図る。
目標 児童生徒のそれぞれの特定のスキルに注目し、得意なことや興味関心のあることを見つけて、学校教育や地域社会との連携を図りながら児童・生徒の成長・発達を支援することを目標とします。また、高标准的な日常生活を送ることができるような自立支援と日常生活の充実をはかり共生社会に向けての後方支援の役割を果たします。
同種のサービス

4 施設の概要(平面図は裏面のとおり)

土地 所在地 吉津町12-27 A棟1階
名称 学校法人英数学館 EISUみらい塾
用途 放課後等デイサービス
建築面積 128.81
事業の概要 ① 種別 新規 使用する階 1階 専有面積 107.83㎡
② 種別 手続 使用する階 階 専有面積 ㎡
③ 種別 手続 使用する階 階 専有面積 ㎡
内容 申請種別 □新築 □増築 □用途変更 □移転 ■その他
所有物件により放課後等デイサービスを行う

5 主要取引先

上段:取引先 下段:所在地 割合 単取引 回収・支払の条件 主な修正点

6 従業員

職種 雇用形態 名前 年齢 月給 主な修正点
管理職 非常勤 59 25 万円
サービス管理責任者 非常勤 万円
指導員 非常勤 58 20 万円
指導員 非常勤 81 20 万円
指導員 非常勤 66 5.1 万円
指導員 非常勤 52 6.1 万円
指導員 非常勤 45 5 万円

7 借入金の状況

金融機関 理由 借入残高 年間返済額 意見

8 必要な資金と調達方法

必要な資金 金額 調達方法 金額 主な修正点
土地 万円 補助金 万円
設備 万円 自己資金 1000 万円
敷金 450 万円 借入金 万円
車両 万円
その他 万円
運転資金 550 万円
合計 1000 万円 合計 1000 万円

9 事業の見通し

利用者見込 A 1月目 48人 2月目 48人 3月目 96人 1年後 240人
月平均利用額 ※1 (1人当たり) 4.4万円 4.4万円 4.4万円 4.4万円
収入計① 0万円 0万円 43.5万円 217.8万円
支出計② 109.2万円 109.2万円 164.2万円 164.2万円
収支 ①-② -109.2万円 -109.2万円 -120.7万円 53.4万円

※1 月平均利用額(1人当たり)の算定根拠

基本報酬(サービス費)十全ての加算について記載すること
平日:(基本報酬(区分2)804+児童指導員等加算加算123+送迎加算54×2)処遇改善加算(1)8.496=9,051円/日
休日:(基本報酬)721×0.85+児童指導員等加算加算123+送迎加算54×2)処遇改善加算(1)8.496=9,138円/日

※2 給付費は、サービス提供月の翌月に振り込まれるので留意すること(例:4月サービス提供→5月請求→6月振込)

※3 主な受注作業取引先(生産活動を行う場合に記入)

上段:受注先 下段:所在地 1月当たりの受注額 契約書の有無 回収・支払いの条件

※3 主な事業所内生産品(生産活動を行う場合に記入)

生産品 1時間単価 計算式 1月当たりの生産額

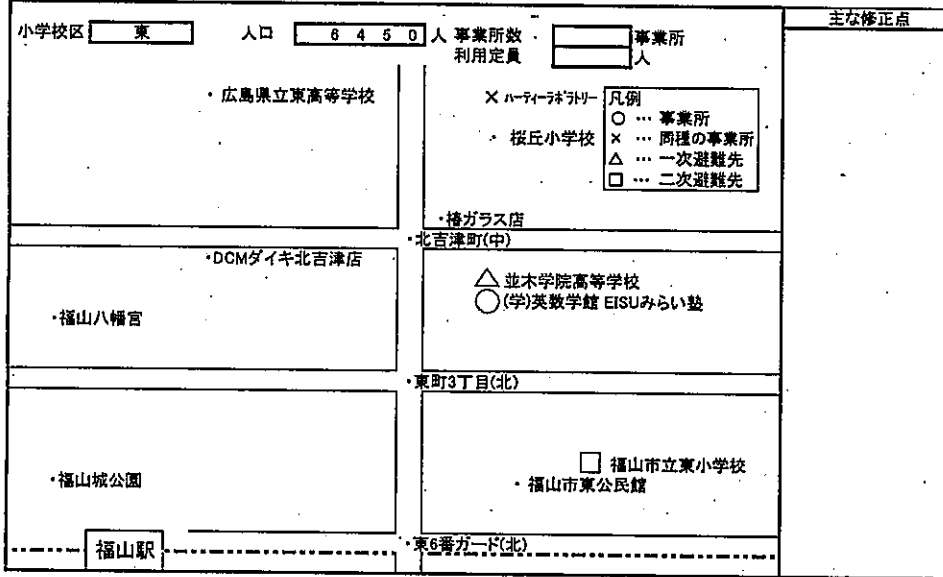
※4 経費:消耗品,光熱水費,車両管理費,研修費,宣伝広告費,租税公課,社会保険料,レンタル料等

様式第2号-2

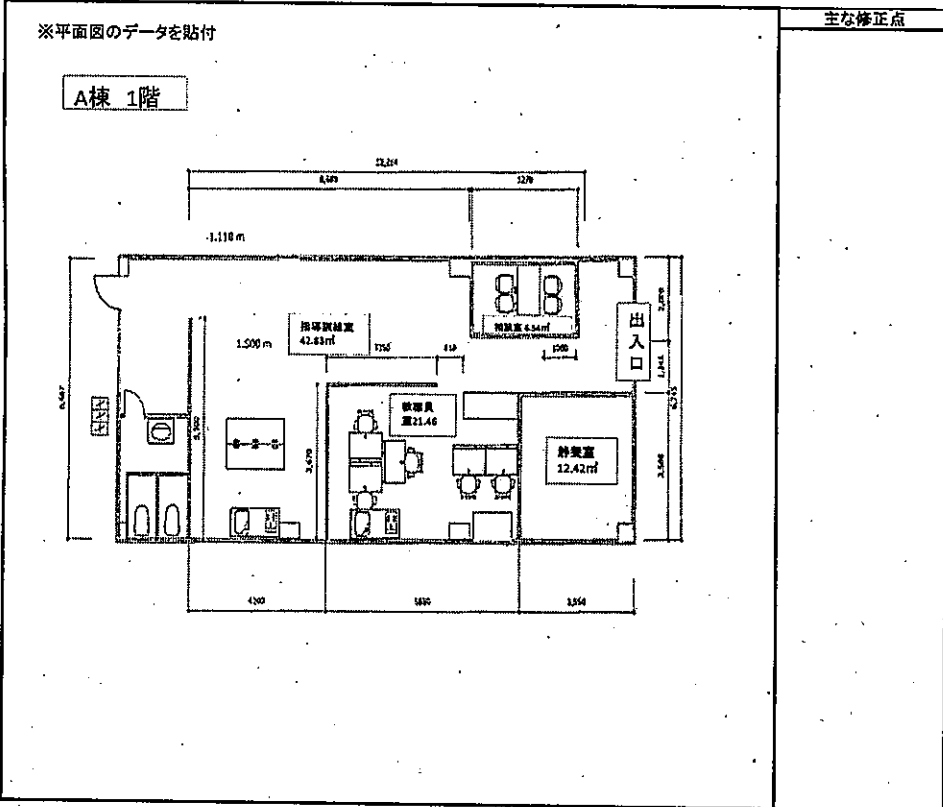
受付印

2022.2.15受付 (受付印省略)

10 付近図



11 平面図



12 事業計画

<p>放課後等デイサービス</p> <p>利用定員：10名/日</p> <p>営業日：月曜日～土曜日(休日は日祝日、お盆休み、年末年始)</p> <p>営業時間：平日11時00分～13時00分(1時間休憩) (7時間/日 勤務)、土曜日9時00分～14時00分(5時間/日 勤務)</p> <p>サービス提供時間：11時30分～18時30分(平日)、9時30分～13時30分(土曜日)</p> <p>対象者：小中高生</p> <p>指導方法：個別支援と集団支援の組み合わせ</p> <p>目的：</p> <p>①当法人建学の理念「ひとりひとりの若人が持つ能力を最大限に引き出し技術者として社会人として社会に貢献できる人材を養成する」をもちとして障害のある学齢期の子どもの健全な育成を図ることを目的とします。</p> <p>②個々の得意な趣味を伸ばし、活かして、苦手を補うという考え方を取り入れ、内容や方法を個別化しながら支援を行うことによって、自己肯定感を高め、社会で生きる力を養います。</p> <p>③将来の自立を見据えた支援を、保護者や関係機関と連携し、進路やキャリアプランについて共に考え、将来の生活に希望が持てるよう行います。</p>	<p>主な修正点</p> <p>個別支援と集団支援の組み合わせでを行うことを追記しました。</p>
--	---

13 利用者処遇

<p>別紙3</p>	<p>主な修正点</p> <p>別紙3で記載</p>
------------	----------------------------

14 防災計画

<p>避難場所：並木学院福山高等学校、福山市立東小学校</p> <p>避難方法：児童の安全確保を最優先とし、指導員が徒歩で安全確認し誘導します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一次避難先(並木学院福山高等学校) 徒歩1分 ・二次避難先(福山市立東小学校) 徒歩8分 ・消防訓練：2回/年(毎年5月と11月予定) ・避難経路の周知・土砂災害危険場所：該当なし ・土砂災害(特別)警戒区域：該当なし ・その他：大災害発生時には1.0m以上の浸水、洪水被害が予測されている。 	<p>主な修正点</p>
---	--------------

15 一日の流れ

<p>時 分 ~ 時 分</p> <p>時 分 ~ 時 分</p> <p>時 分 ~ 時 分</p> <p>時 分 ~ 時 分</p> <p>時 分 ~ 時 分</p> <p>時 分 ~ 時 分</p> <p>時 分 ~ 時 分</p> <p>時 分 ~ 時 分</p>	<p>別紙2</p>	<p>主な修正点</p>
---	------------	--------------